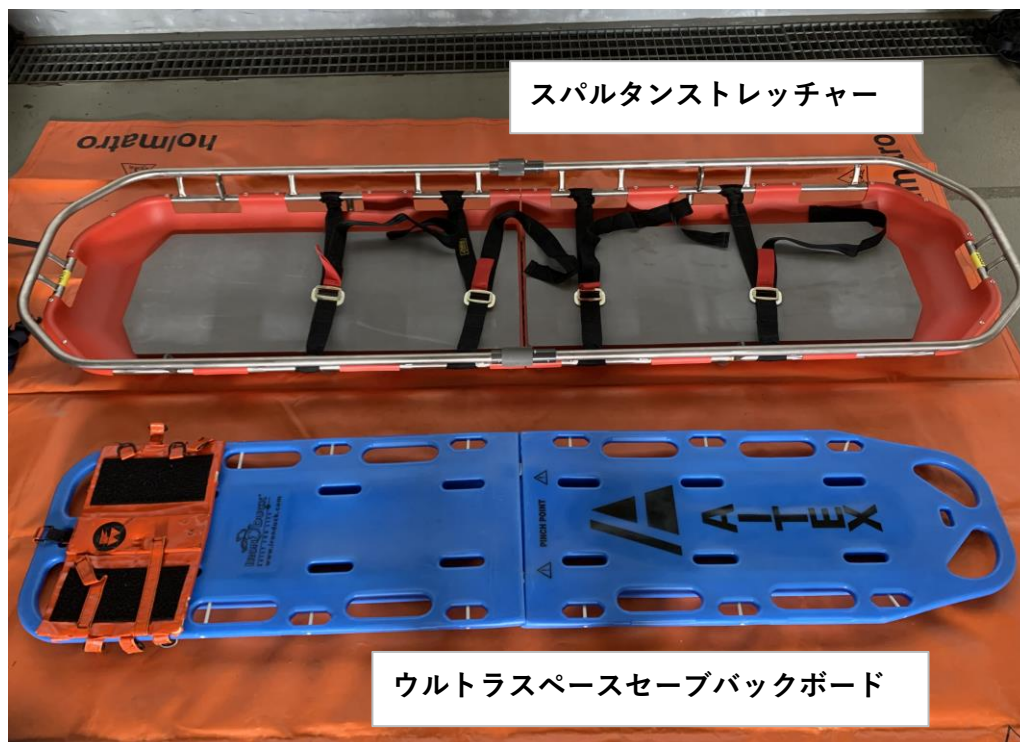
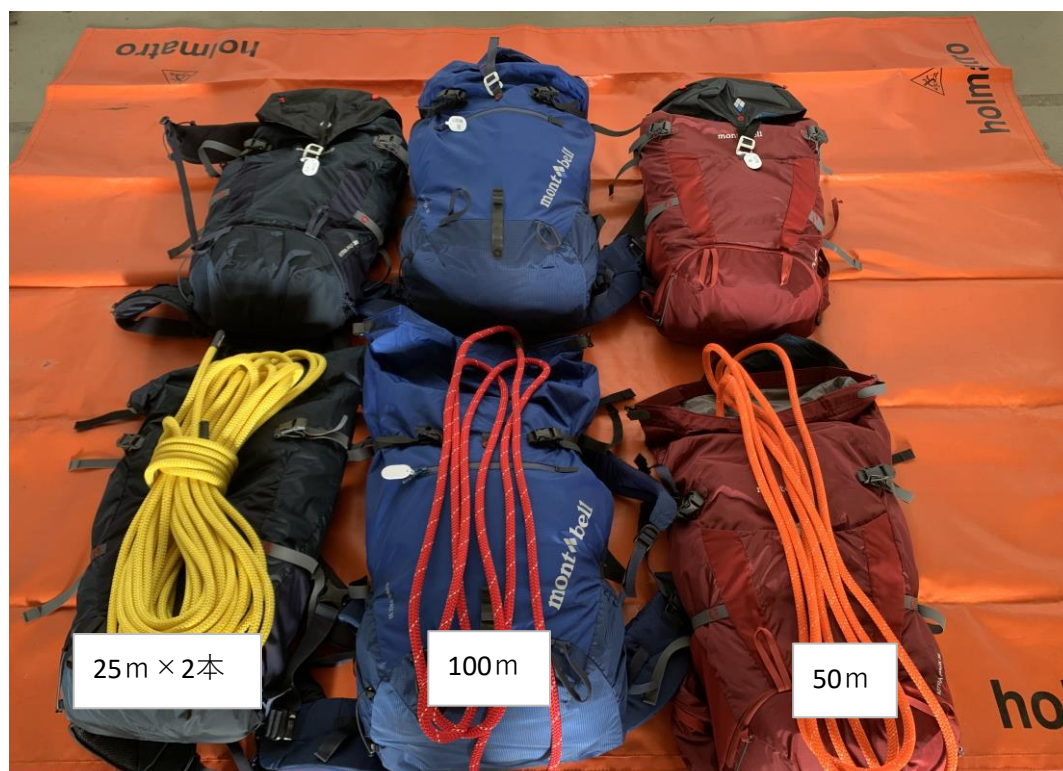


傷病者を搬送するための担架やロープ、カラビナなど数多くの資器材を購入することができました。



救出用のロープとロープバックです。

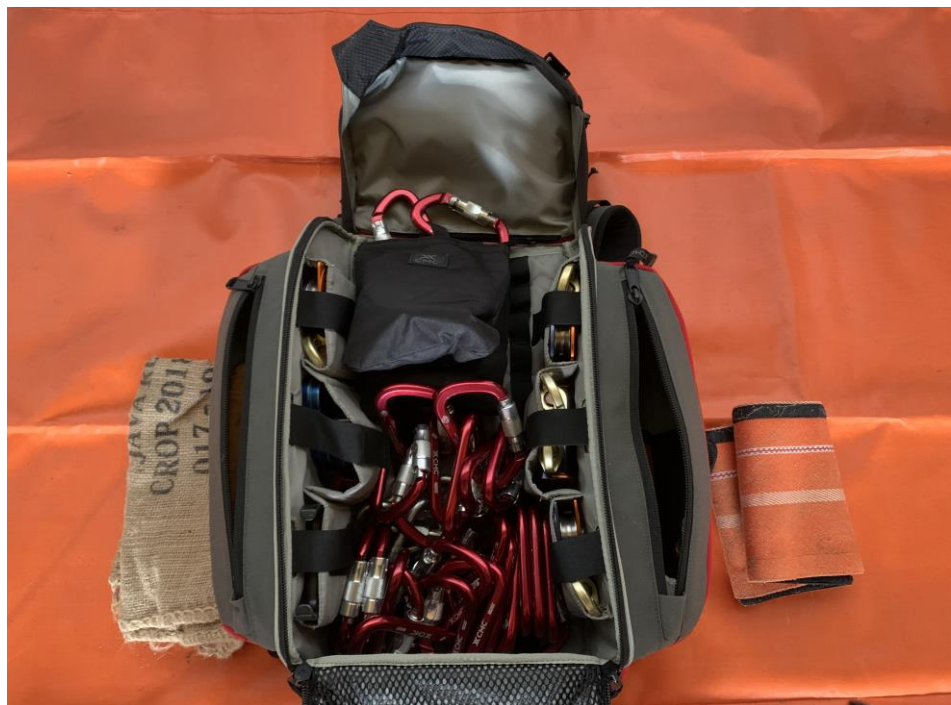
(100m×2本、50m×2本、25m×4本がバックの中に入ってます。)



救出システムを作成するためのカラビナや滑車等です。



上記を下のバック（リグテックバック）に入れて持ち運びます。





MPD（マルチ・パーパス・デバイス）

この資器材で降下スピードを調整しながら、
隊員をおろしたりできます。



レスキューエイトを使用し、
隊員自らスピードを調整しながら
降下しています。



スィベルプーリー（滑車）
力の方向を変える器材です。

スィベルダブルプーリー

5 倍力システム
このシステムは、滑車を使い
5 分の 1 の力で傷病者を引き
上げる事ができます。



メイン
傷病者を救出するラ
イン

ビレイ
メインの破断等に備えて設ける
バックアップライン



傷病者を担架に乗せ縛着し、
隊員が搬送しながら、ロー
プで引き上げています。



登山道の入口に山岳事故防止のため看板を設置することができました。



コールポイント（居場所を知らせる標識）を設置しました。
28箇所あります。

